

28年3月25日

宇部市長 様

宇部市がんばる地域支援助成金実績報告書

団体名 厚東校区コミュニティ推進協議会

代表者氏名 小林 征和 (印)

平成27年9月3日付け指令宇市活第 193 号に係る事業が次のとおり完了したので報告します。



事業名	厚東・二俣瀬ライン元気創出戦略
事業の完了年月日	平成28年3月31日
事業の総括について	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内における「地方創生」を目指し、地域振興とそれに伴う校区の魅力発信及び市内外からの来訪者、また校区への移住者を視野に入れた地域活性化を図る事業の一環として取組んだ。 ・厚東と二俣瀬を結ぶ旧山陽道（どんだけ道：殿様道）は唯一昔の街道の姿を今に残している歴史的にも貴重な街道である。この厚東歴史道の地域魅力を発信して、市内外から校区へ1人でも多くの来訪者を迎え、地域の活性化を図る事業とした。 ・旧山陽道は校区まちづくりサークルが取組んできて7年になる。最近ではこの旧山陽道の愛好者も増加している現状の中で、校区コミュニティと連携してのこの事業が更に校区の元気創出へ繋げることを期待しての事業であった。
事業の達成度について	<ul style="list-style-type: none"> ・どんだけ道の案内板は、厚東郷土史研究会の協力で子どもにも理解できる文言で制作し、2か所（岡村・春日）に設置した。 ・一里塚復元設置についても郷土史研究会の歴史資料に基づいて検討し、春日地区に設置した。旧山陽道の歴史的魅力ができた。 ・旧山陽道の整備で、陥没した箇所と水はけの悪い箇所等の補修整備を行い、来訪者が気持ちよく歴史街道を散策できる工事を行った。
助成事業等の効果について (期待した効果は得られたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果（どんだけ道）をメディア等に発信して情報拡大を継続的にすれば、今まで以上に山陽道の愛好者が厚東を訪れるのは確かである。 ・これを機会に、船木・厚東・二俣瀬・嘉川街道ライン提携戦略を構築していく方向性ができる。 ・小中学校が行事としてこの旧山陽道（どんだけ道）を活用することにより、地域学とふるさとへの思いを醸成することにもなる。
評価や反省を踏まえた今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・どんだけ道元気創出戦略として、どんだけ道まつりを二俣瀬とのコラボで開催し、多くの来訪者を迎え、地域の活性化を図る。 ・この事業の継続性をコミとまちづくりが連携して、地域振興対策の一つとして発展させていく。
交付の確定を受けたい補助金の額	2,000,000円
その他	交付決定額2,000,000円

添付書類助成事業決算書

帳簿 (写)

その他事業の執行に必要な書類 (通帳・領収書等・地図・写真等)